

う評価し、役割分担する
のか。

区長 ①サービスの
質や効率性が向上し、
個々のニーズに柔軟に対
応できる。②区民が担え
る部分には区民の力を生
かし、連携、協力してい
くべきと考える。③個人、
地域、区など、コミュニ
ティ相互の補完が、今後
の役割分担の新たな基礎とな
ると考える。

**危機管理対策を
組織全体で共有せよ**

重大な災害・事故が多発し
ている。区民の生命、財産を
守るため、危機に対する職員
の能力を磨くことが重要だ。
①迅速・的確な対応を十分に
検討しているか。②幹部職員
の危機管理意識はどうか。③



中野区防災センター

近隣区や都、国、警察や消防
との連携・協力体制はどうか。

区長 ①区長の明確な方
針のもと、対応策を組織全体
で共有する。②幹部職員の強
力なリーダーシップが不可欠
だ。組織的にリスクの点検や
対応策の整備を図っている。
③緊急物資の供給について協
定を結ぶなど、関係機関と相
互に緊密に連携を図っている。

**区民の理解が得られる
名誉昇給制度に改善せよ**

民主クラブ 酒井 たくや

名誉昇給は、区職員が退職
する際、基本給を自動的に引
き上げ、退職金を増額させる
しくみである。中野区では、
平成14年度総額3200
万円、名誉昇給により退
職金が上積みされた。民
間企業では、ボーナスさ
えも支給されない中、将
来に対する不安が蔓延し
ている。この官と民の均
衡を著しく欠くような制
度を、区民は知らないの
ではないか。納得を得ら
れない制度であれば、速



総合防災訓練

ように見直していくつもりか。
区長 ①区政に対する多
年の功績などに報いるもので、
特別区人事委員会規則に基づ
き区長が定め、承認を得て実
施している。②今年度末退職
予定者も含め、見直しを検討
したい。

**地域の防災ネットワーク
づくりを強化せよ**
①災害時に機能しなければ
ならない消防団は、区民の命
財産などを守る地域に欠かせ
ない組織である。区の人口分
布をみると、若年層を確保す
ることで、より地域ぐるみの
防災組織が機能していくはず
である。消防団活性化のため
区報などで積極的に募集をす
べきではないか。②耐震診断
や消防団の活性化が図られても
防災意識の形成ができなけれ
ばどうにもならない。自主防
災意識の高揚を図るため、D
IG(災害図上訓練)を学校
教育に導入してはどうか。

東京直下型地震は、いつ発
生しても不思議ではない状態
にあり、中野区もその危機に
さらされているといつても過
言ではない。従来、地震で最
も恐ろしいのは火災といわれ
ていたが、建物の倒壊が一番
危険であり、耐震補強の必要
性が問われている。区でも以
前、住宅の耐震診断の助成を
行っていたが、財政難で頓挫
している。この現状を踏まえ、
何らかの工夫をこらした実効
性のある制度の構築が必要と
考えるがどうか。

**中野サンプラザ取得は
再考されるべき**

無所属の会 近藤 ヤシエ子

①中野サンプラザは、駅周
辺のまちづくりにかかせない
と言いが、取得にこだわる理
由は何か。まちづくりと、こ
の施設が果たす役割について
明確なビジョンを示すべきだ。
②中野サンプラザ取得は、最
大の税金の無駄遣いとなった
上野原スポーツ・学習施設の
二の舞になるのではと危惧す
るが、責任は誰が負うのか。

区長 ①清掃工場計画の
中止など駅周辺を取り巻く情
況が、責任は誰が負うのか。

ティバスは、長期間の検
討にもかかわらずなぜ実
現出来ないのか。②保健
福祉施設が整備される江
古田の森に「足の確保」
としての新たな交通手段
を導入する考えはないか。
区長 ①運行経費に
財政的な支援がなければ
実現が難しく、実施を見
送ってきたが、引き続き



指導補助員のいる授業風景

何のための図書館委託化か
①図書館の委託化を実施し
ようとしているが、安易な委
託化は、区にとって大きな損
失にならないか。②効率優先
のあまり図書館本来の意義が
犠牲とならないか危惧する。
教育長 ①コストの負担を
伴わずに利用者ニーズに応え
るためである。②知的な満足
度を高め、心にゆとりを育む
など、精神的に豊かになれる
空間であると考えている。

ソフト面での教育の充実を
学校の施設面は充実を図り
つつあるが、子どもの生活・
学習環境などソフトの面では
良くなっているとはいえない。教師の
サポートができる学習指導補
助員を全校に配置すべきでは
ないか。
教育長 学習指導補助員は、
きめ細かな学習指導のため国
の補助制度を活用して配置し
たもので、今後、成果や財政
状況などを充分に見極めなが

持続可能な区政への転換を

市民自治 佐藤 ひろこ

税金を使い尽くすやり方で
維持してきた区政運営を見直
し、子どもたちの世代に持続
可能な区政を手渡すのが責務
である。「持続可能な地域社
会を目指すための区政の転
換」について、どう考えてい
るのか。

区長 区民が自ら問題解
決に取り組み、相互に支え合
うことにより、高齢者や障
害者も安心して生活できる地
域にしていくべきだと考える。
縦割り行政からの脱却を
三重県では、縦割り行政を
廃止し、組織をフラット化し
ている。中野区でも、区民のた
めにしっかりと働ける組織にす
るようだが、①どのような組

織にするのか。②区民に
とつてのメリットは何か。
区長 ①区民に近い
現場が判断できるように
権限を委譲するなど、中
野区らしいあり方を追求
する。②組織が区民にわ
かりやすくなり、区民の
価値を仕事の目標に掲げ、
その成果を目指すように
なる。



区民課証明書発行窓口

NPOとの協働の指針を
公共の新たな担い手とのか
かわりについて、①指針にど
のような内容を盛り込むのか。
②NPO支援基金や公共施設
の空きスペースを活用した場
の提供について検討しては
ないか。
区長 ①支援の対象や具
体的な支援内容などについて
盛り込む予定である。②他の
先進的な区の例を参考にして、
中野区の実情にあった手法を
考えていきたい。

**重度障がい者対応の
ヘルパー養成を**
重度の全身性障害者の日常
生活支援と移動介護のヘルパ
ー不足が深刻である。NPO
の活用を検討している。

**次世代育成支援対策として
児童・生徒の医療費助成を**

公明党議員団 高倉 良生

①区は、次世代育成支援対
策推進法にそって、児童・生
徒を対象とした医療費助成制
度を創設してはどうか。②行
動計画の策定にあたっては、
外部の専門家や子育て支援に
関わっている方々を入れられ

ないか。③養育家庭への理解
を進めるとともに、子育て支
援の視点から、養育家庭の体
験を語る会を開催しては。
区長 ①昨年度、就学前
までの乳幼児医療費助成の所
得制限を撤廃しており、まず、